

はにい『いのちを大切にできる心を育む』 令和4年9月1日



ポスターを作製した生徒の言葉です。

「種族が違って、みんな『いのち』をもっていて、どれも平等で尊いもののはずです。力の強いものも、弱いものもいます。人間は弱い立場の動物を助けるべきだと思いました。

いつか、人と動物が、どちらも平穏に暮らせる時代になることを願っています。」

「人間や動物の命を強くイメージし、『いのち』がテーマのポスターを制作しました。男の子や女の子、様々な動物を『命』の字にあてはめ、植物や野菜、果物も入れました。

『様々な色（個性）で世界が彩鮮やかになってほしい』『笑顔であふれてほしい』という気持ちを込め、たくさんでカラフルにし、生きものはみんなにっこり笑顔に描きました。自分の思いが世界中に届いてほしいです。」



春休み中に子どもたちは一人ひとり、それぞれの視点から「いのち」に関するポスターを描きました。

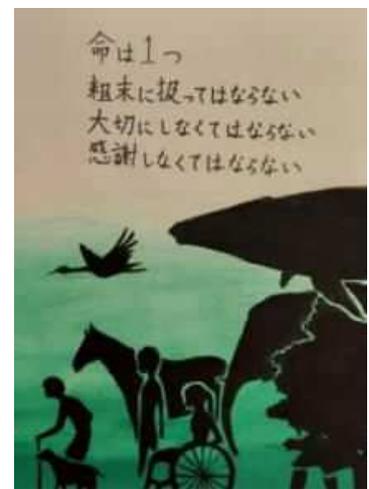
「いのち」を大切にできる心をはぐくむ教育推進研究校の取組例です。

学校だよりには、校長先生のメッセージ。

「『命』＝『生と死』という考え方だけではなく、『仲間の大切さ』や『生き方を学び考える』ことが大切だと思います。」

『はにい』はコミュニケーションツールです。みんなで語り合いましょう。

【「いのち」からイメージされる生徒の作品（一部）】



『はにいい』はコミュニケーションツールです。みんなで語り合きましょう。